
2018年度 第5回

郵博 特別切手コレクション展

珠玉の菊切手コレクション展

展示作品解説パンフレット



主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

展示団体

珠玉の菊切手コレクション展 実行委員会

後援

無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

開催日時

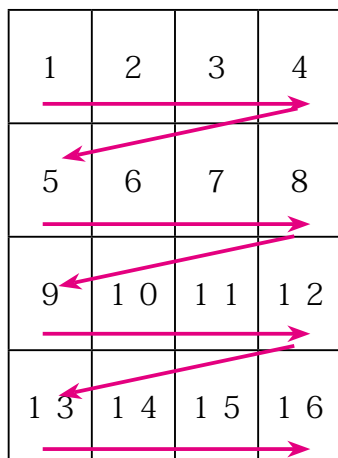
2018年10月13日（土）10:00-17:30

2018年10月14日（日）10:00-17:30

会場：郵政博物館

切手コレクションの観覧順序

展覧会に展示される切手コレクションは、「展示リーフ」という用紙に整理されて展示されています。この「展示リーフ」は16枚ごとにパネルに収められ、各パネルで以下の順で展示されています。



従いまして、各パネルにおいては、展示リーフは、上段から、左から右へと、ご覧ください。

なお、切手コレクションの整理方法には様々なやり方がありますが、この展示方法は、分かりやすさ・コストなどの点で現在最も普及している方法で、日本だけでなく、欧米、アジア、オセアニア、アフリカの各国でも同様の方法が採用されています。

作品をご覧になられてのご質問や切手収集に関するご質問については、場内におります主催者・展示者にどうぞお声がけください。

当館所蔵の菊切手コレクションから

郵政博物館

【ショウケース展示】

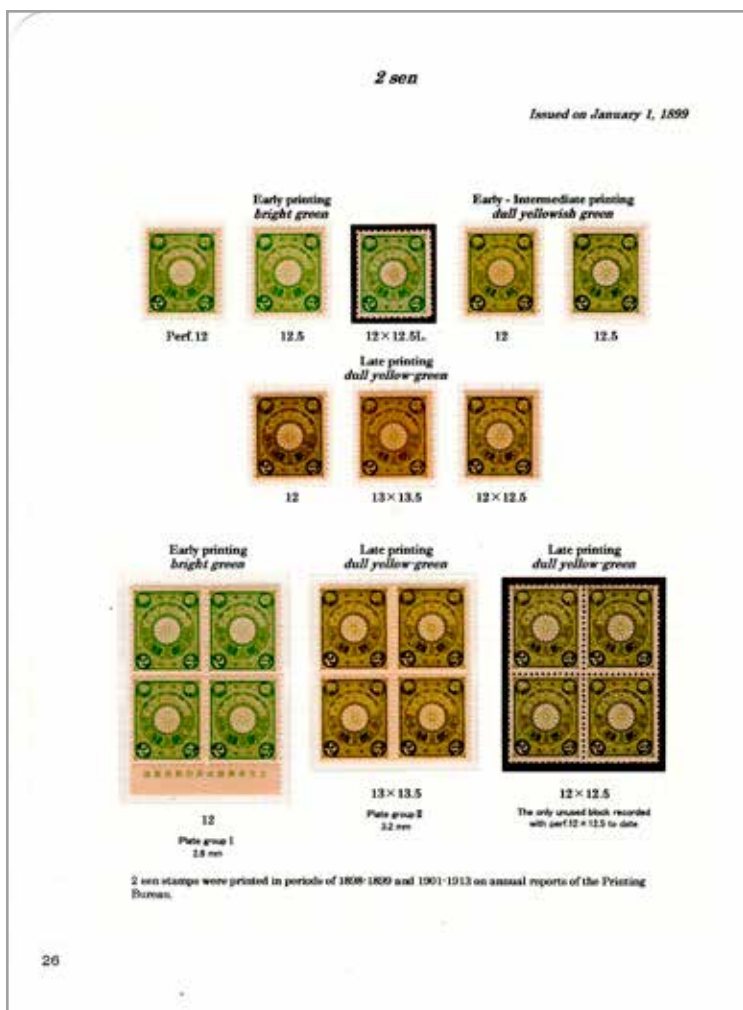
郵政博物館所蔵の菊切手関係史料から次のものを特別に展示いたします。

- (1) 『続大日本帝国郵便切手沿革誌』 稿本
- (2) 菊切手原版 4種
- (3) 神功皇后図案用のスケッチ（紙焼き）

菊切手 (6)

古家 美和

2011年に横浜で開催された国際切手展から7年が過ぎ、当時コピーを撮っていないため再構成には苦労しましたが、大きくは変わらないと思っています。と云うよりは、7年の進歩は微々たるもので情けないのですが、現状を確認するための良い機会を作って頂きました。展示は、菊切手に加え、日本と接する経済圏で使用され、同じ時代に製造された加刷切手を含めています。



「支那」加刷菊切手 (5)

柳川 英幸

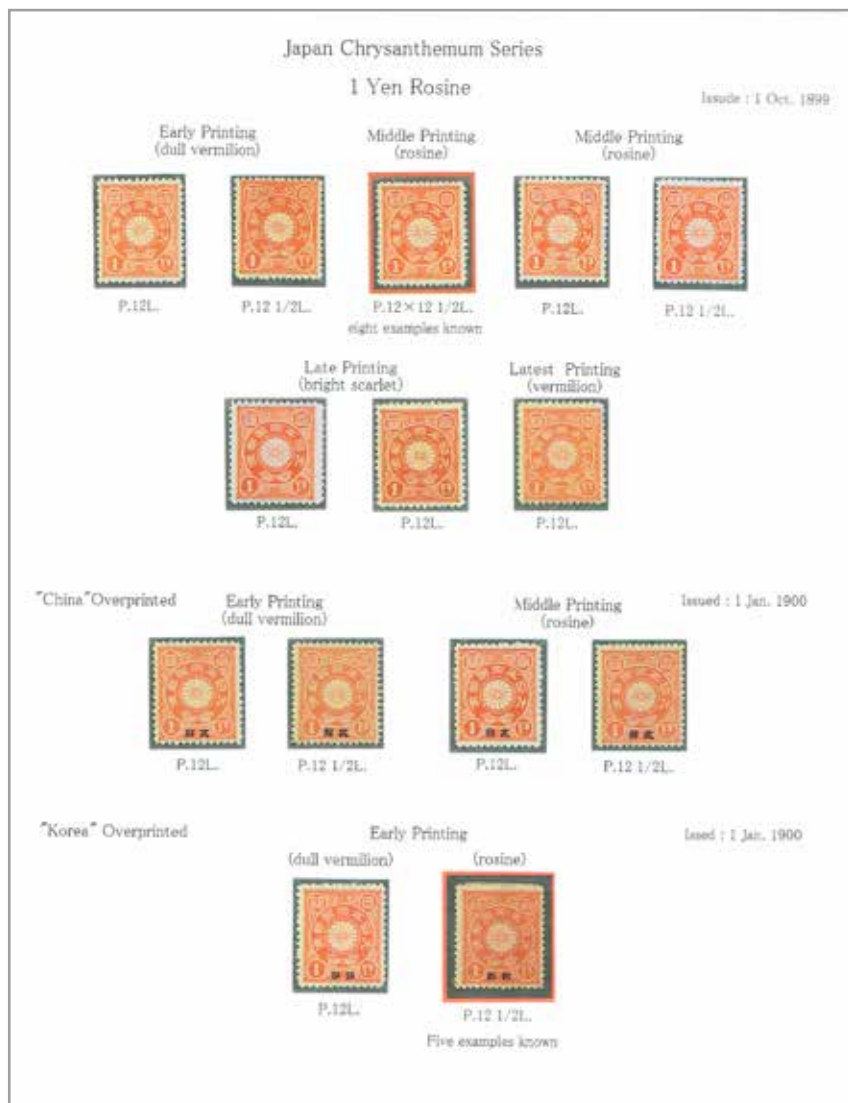
支那加刷菊切手は中国（当時は清国）にあった日本郵便局で使用する為に発売されました。日本国内で発売されていた菊切手に「支那」を加刷し、1900年(明治33年)1月1日上海などの在中国日本郵便局で発売しました。1876年(明治9年)中国(清国)の上海日本郵便局に加え、日本は多い時には数十の郵便局を開設しました。この作品は「支那」加刷菊切手をまとめ、展示は発行順、額面順に18種を揃えました。



菊切手 (5)

村山 廣祐

この作品は菊切手（朝鮮、支那、軍事加刷、切手帳、偽造切手 10 銭を含む）を、製造面は未使用切手によって示し、使用面は使用済単片を省き、カバー、葉書等で示しています。展示は発行順としました。



菊切手 (5)

寺中 良幸

1899年1月1日より発行された菊切手を発行順に無加刷、朝鮮加刷、支那加刷の各額面毎に未使用、使用済、カバーを並べ分類、展示しております。2012年全日展出品以降、暫く収集を中断をしておりましたが、昨夏以降再開して新たに加えた収集した品も含まれております。



菊切手 (5)

内海 省一

「菊切手」の無加刷切手を発行順に製造面と使用面で展示した作品です。原則として各額面4リーフ(1段)の構成にしています。製造面では、色調(印刷時期)ごとに目打で分類をし、使用面では、各額面での代表的な使用例と多様な使用例を示すとともに、25銭・50銭等の高額面の使用例を充実させることに努めました。苦戦している額面がありますが、ご笑覧ください。



菊切手時代の内国郵便（5）

片山 七三雄

1899年1月1日の3額面の菊切手発行から1913年8月31日の田沢切手1銭5厘・3銭の発行までの間に施行・改正された郵便条例、郵便法の2つの法律を中心に内国郵便制度の変遷を扱います。この時期の制度の変遷の中でも特に、新規制度の開始と法律の整理統合の二つを中心に扱います。



菊切手と書留郵便料金 (5)

安藤 源成

1899年4月1日の郵便料金改正に伴い、書状は小型から中型になり2匁毎2銭が4匁毎3銭、葉書は1銭から1 1/2銭となり、書留料金は据え置かれました。同時に5厘、1銭、3銭(栗)が発行され、その後に他の額面も順次発行されました。その後、書留料は1900年10月1日に6銭から7銭に値上げされました。この展示では書留書状に使用された様々な菊切手を提示しています。

菊切手時代の急速郵便（2）

池田 健三郎

江戸時代から今日に至る急速郵便制度史コレクションの中から、菊切手
が使用された時代の使用例を抜粋して展示します。前後のシリーズが若干
混在する点をご了承下さい。

The Development of Japanese Express Delivery Service in Early Period

Part IV: After the Introduction of Express Delivery to Limited Regions

IV-1 Foundation Period of Express Delivery

On February 13th, 1911, "EXPRESS" delivery service (defined as "the most preferential service for delivering as prompt as possible using every available way and resources in delivery process, from the sender to the recipient"), was enforced in the domestic postal system. The service, however, was so limited that it was available only within Tokyo city or between Tokyo and Yokohama at first, followed by an introduction to Osaka and the Keihanshin area in April, 1912.

New Rate of Prompt Delivery
EXPRESS 6 Sen; within a single delivery area / 12 Sen; between multiple delivery areas
REGISTERED SPECIAL DELIVERY 27 Sen (special delivery 20 Sen + registration 7 Sen)

1911 "EXPRESS" Delivery in Its First Year, Only a Half-dozen Examples Are Known
 Postcards Delivered within a Single Delivery Area in Tokyo





Route (above): Tokyo Harajuku — Hongo
 (1911.9.17, 9-10 a.m.) (9.17, 10-11 a.m.)

Route (upper right): Shitaya — Koishikawa
 (1911.12.31, 8-9 p.m.) (12.31, 9-10 p.m.)

Rate: 7.5 Sen+ postcard 1.5 Sen + express 6 Sen, within a single delivery area

These cards, delivered within no more than 2 hours, show the high quality of the postal service at that time as compared with even today.

Very Limited Available Areas where
"Express" Service Was Initially Introduced in



Keihanshin Area: Kyoto, Osaka, Kobe
 Keihin Area: Tokyo, Yokohama

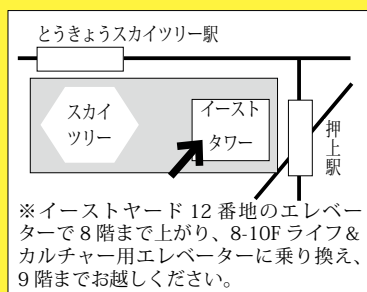
郵博 特別切手コレクション展

1902年(明治35年)に開館した「郵便博物館」に
その起源を遡る「郵政博物館」で開催される特別展です

2018年度に開催予定の特別切手コレクション展一覧

開催期間	特別展名
4/20-22	郵便制度史展 2018 ポスタル・ヒストリーのメイン・ストリームを織りなすコレクションの数々
6/23-24	南方占領地のフィラテリー展 第二次世界大戦中に日本が南方占領地で発行した切手の大河コレクション
6/30-7/1	郵便番号導入50周年展 郵便番号が1968年に導入され半世紀経過したことを記念して開催いたします。
10/6-8	< 動植物国宝切手の神髄 > 展 日本切手随一の人気シリーズである動植物国宝切手の魅力溢れる名菓の数々
10/13-14	珠玉の菊切手コレクション展 わが国における「菊」の最高峰コレクションが揃い踏み
11/3-4	第6回ヨーロッパ切手展 第一次世界大戦終結100年を記念したコレクションが勢揃い
2019年 2/2-3	第2回いずみ展 わが国郵趣グループのトップ・ランナーの実力がここに明かされる

特別切手コレクション展の開催時間は原則として午前10時～午後5時半ですが、初日
だけ12時開始になる事が多いので、ホームページでご確認の上、お越しく下さい。



郵政博物館への行き方

所在地 東京スカイツリータウン・ソラマチ9階
※イーストヤード12番地のエレベーターで8階まで上がり、8-10Fライフ&カルチャー用エレベーターに乗り換え、9階までお越しく下さい。

最寄駅 押上駅(東京メトロ半蔵門線、都営浅草線、東武スカイツリーライン、京成押上線)、とうきょうスカイツリー駅(東武スカイツリーライン)両駅から直結。

共催 郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

<http://kitte.com>